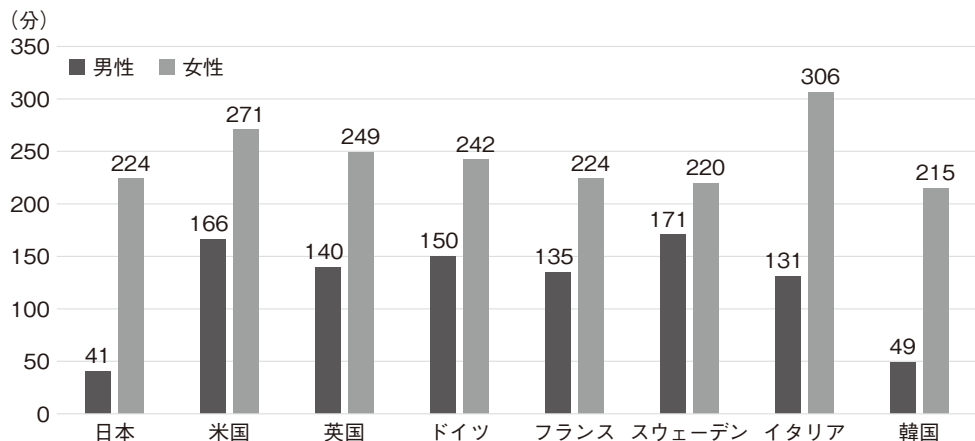


男女別 1 日当たり無償労働 (家事・育児・介護等) 時間の国際比較



OECD は 1 日当たり生活時間の配分を調査している。日本は男女ともに有償労働時間が長く、調査対象 11 カ国中、男性は 1 位、女性は 2 位である。いずれの国でも総じて家族への無償の労働時間は女性が長い傾向にあるが、諸外国と比較しても、日本、韓国ではそのバランスが極端に女性に偏る。これらの国はジェンダーギャップ指数で下位にあることも指摘されている。コロナ禍でケア労働の重要性が見直され、女性の無償労働の問題も浮き彫りになった。その学びを今後どう活かすかが問われている。

「OECD Statics 2021」より作表